一般用

大月市障がい者福祉の会

おたより

2024年3月発行　No.8

会長あいさつ

会長　藤本　兼三

能登半島地震の被害にあわれた方々には、今もなお大変な思いをしていることと、お見舞いとお悔やみを心より申し上げます。

今年度を振り返りますと、5月以降コロナが5類となり、私ども障がい者の立場で考えますと本当に大丈夫なのかと思いました。

会員の皆さんを拝見する限り、大事にはなっていないようなので、安心しました。

このような環境の中で、今年度は障がい者に対する啓発活動、クリスマス会等の開催、また各部会でのイベントなど、通常に近い運営が進められたことは大変うれしく思います。

これまでの大変な日々を過ぎ、次年度にはこれまで以上に会員相互の交流、障がい者福祉の向上に向けて、有意義に楽しく進むことを心より願います。

＋＋ 各部会活動の報告 ＋＋

～ 身体障がい者部会 ～

9月25日に日帰り研修旅行として11名参加して、最初に忍野の水族館に行きいろんなお魚を見ました。周りは、緑がさくたんあり自然が豊かな、気持ちも落ち着くような場所でした。その後、昼食を富士吉田の「奥藤」というおそば屋さんで食べました。そばにコシがありとても美味しいかったです。それから待ちに待った山中湖の水陸両用の「カババス」に乗りました。

この日の天気は雲で、晴れていたら富士山が目の前で見られて最高だと思いました。体が不自由な人達で日帰り旅行に行ける事に感謝しています！

（文：身体部会のコアラ）

～ 精神障がい者部会 ～

1月28日に南都留郡西桂町にある「あしたばガラス工房」で創作体験をしてきました。工房のかたの指導のもと吹きガラスでコップを制作しました。色とりどりのコップが出来てとてもたのしく過ごせました。

そのあと、反省会も兼ねて食事会をしました。腹ごしらえのあとは都留市の「都留ファミリーボウル」でボウリングをして交流を深めました。ボウリングもおおいに盛り上がりました。

今後も色々な部会活動を計画したいと思います。　（文：精神部会のネコ）

～ 知的障がい者部会 ～

1月28日に福祉センターの6階で交流会を実施しました。

半日だけでしたが、鯨岡瑞希さんの軽体操と、山梨県ボッチャ協会のご指導のもとボッチャを行い、みんな真剣にゲームに参加し、うまく出来た時には皆から歓声が上がっていました。決勝戦は接戦で盛り上がりました。

県のボッチャ協会の方からも「前回の11月よりうまくなっている」との感想もいただけたので、もう少し練習の機会があれば大会へ参加もできそうな予感がします！

（文：知的部会のパンダ）

～ 児童部会 ～

9月と12月の2回に分けてウェルネスパークでの秋野菜の植付けから収穫作業までの体験を親子で行いました。子どもたちも積極的に植付け収穫することが出来ました。

11月18日、富士急ハイランドへ行き、広い園内のアトラクションを満喫することができました。2月7日には「ムスタチオ」で、雪のため休校の子どもたちも参加し、交流会をしました。新メンバーに子どもたちから自己紹介をする場面などあり、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。これからもみんなで楽しめる部会活動を行いたいと思います。

（文：児童部会のイヌ）

＋＋　ボウリング大会　＋＋

8月27日、福祉の会ボーリグ大会へ家族で参加しました。コロナ禍もあり、ボウリング自体を家族でする事もなかったため、家族で初めてのボウリングでした。

息子は初めて行く場所は苦手意識もあり、当日は落ち着いていられるか、ボウリングの球を投げれるのかと不安でしたが、いざボウリングが始まると周りを見ながらではありますがお姉ちゃんに手伝ってもらいながら球を転がす台を使い、転がす事が出来ました。

途中でピンが気になりレーンの中に侵入してしまったりとハチャメチャな事はありましたが(笑)楽しくボウリングが出来ました。

ストライクを決めることが出来た時には、とても嬉しそうでした。

残念ながら賞は取れませんでしたが、福祉の会の皆さんと一緒に楽しめたボウリング大会になりました。

企画・進行をしていただいた理事の皆様に感謝します。

次回のボウリング大会も楽しみにしています。　　（文：児童部会のクマ）

＋＋　ボッチャ体験交流会　＋＋

11月19日、障がいに対する理解啓発普及活動として、ボッチャ体験交流会を、やまびこ支援学校の体育館で開催しました。

山梨県ボッチャ協会の皆さんにはご指導を、やまびこ支援学校には会場を開放していただきました。

会員だけではなく、民生委員やボランティア協会の市民の皆さんと一緒のチームとなり、楽しく体を動かすことができました。

ボッチャ協会の皆さんのルール説明もさることながら、戦略方法のデモンストレーションがすごくて、見入ってしまい、拍手をいっぱいしました。

ボッチャは力ではなく、頭を使うスポーツ！

またチームワークが大切だと知りました。4グループに分かれ、試合形式で体験しましたが、時間を忘れて皆さん頑張りました。

今後、パラリンピックでテレビ中継があると、ルールがわかったので、応援のしがいがありますね。　　（文：賛助会員のシマウマ）

＋＋　クリスマスのつどい　＋＋

12月17日、コロナ禍を経て4年ぶりとなったクリスマスのつどい、多数の皆様が参加してくださいました。

午前中のアトラクションは、レインボーKIDSの可愛らしいダンスと演奏♪手拍子で盛り上がりました。

続いて、稲垣誠さんによるサロンマジック！

会員も参加したりしながら、次から次へと繰り広げられる手品に、みな真剣に見入っていました。

昼食は、お弁当＆豚汁＆パウンドケーキを美味しくいただき、お腹も気分も満足一杯になりました（*^o^*）

そして午後は、恒例のビンゴ大会で大盛り上がり★

豪華景品の数々に、喜ぶ笑顔で溢れていました。

会長サンタから「さるっきー」のクッキーもお土産に頂き、大満足のクリスマスとなりました！また来年も、乞うご期待です☆　　（文：児童部会のサル）

＋＋ 防災研修会 ＋＋

2月18日、福祉センター6階において、防災士の田中清貴氏を講師にお招きして「災害に備えて」をテーマとして防災研修会を開催しました。

講演の内容で、「自助」とは自分たちの命は自分たちで守ること、「共助」とはみんなで協力して防災活動にあたること、「公助」とは行政の活動で、何よりも災害の直後は「自助」が大切ですとの話があり、40名を超える受講者のみんなが真剣な表情で聞き入っていました。

後半では、消火器の使い方や三角巾の使い方、応急タンカの作り方などの実技指導を受けました。

講演終了後の意見交換の中で、「本日の研修会に参加して防災に対する取り組む気持ちが変わりました」「防災について自分で出来ることから始めます」等の意見がありました。大変有意義な研修会になりました。

参加者の皆様、大変お疲れさまでした。　　（文：賛助会員のキツネ）

＋＋　ネットワーク会議の報告　＋＋

ネットワーク会議は、当事者や保護者、家族が中心となって、地域生活がより良くなるための話し合いや学習会、情報交換会を実施しています。

●令和5年2月21日　参加者13名　講師：小松圏域マネージャー

テーマ「障がい者福祉サービスについて」

●令和5年9月24日　参加者10名

テーマ「情報交換会及び交流会」

●令和6年2月4日　参加者12名　講師：おおつきソーシャル石井さん

テーマ「成年後見制度について」

来年度はもう少し開催回数を増やし、学習会やお互いの悩みを言い合える場になるようにしていきたいと思っています。

少しでも大月市の福祉が良くなりますように、皆さんの生活が少しでも良くなるようにと願いながら・・・。　（文：知的部会のライオン）

※　誰でも参加できます！

興味のある方は事務局（☎23－2001）までご連絡ください。

＋＋　富士ふれあいの村まつりへ参加　＋＋

9月9日、富士河口湖町にある富士ふれあいの村にて開催した「富士ふれあいの村まつり」へ、会員29名が参加しました。

当日は台風の影響で体育館での開催となりましたが、模擬店と食事等の販売や、舞台では各福祉施設からの歌や踊りの発表があり、一日をとても楽しく過ごすことが出来ました。まつりの最後に富士ふれあいの村まつり恒例の抽選会が行われましたが、残念ながら大月市の参加者からの当選者はいませんでした。

来年こそは、賞をいただきましょう！

＋＋　市社協行事への参加　＋＋

～　大ツキふれあいスポーツフェスティバル23　～

10月21日、大月市民総合体育館にて開催した「大ツキふれあいスポーツフェスティバル23」へ、会員約50名が参加しました。

コロナの影響で4年ぶりの開催で、感染症対策のため縮小しての実施となりましたが、老人クラブの皆さんや福祉施設関係者の方、関係団体の方々の運営へのご協力をいただきながら、総勢260名で交流を図ることが出来ました。

＋＋ 身近にある障害者施設＆事業所の紹介 ＋＋ Part5

今回は大月市にある「居宅介護」を実施している事業所について紹介します。
事業所を利用している方々にインタビューしてみました。

《 セントケア大月 》

知的部会の藤本一恵さん（かおりさんの母）へインタビュー

Q ： いつ頃からどのような支援をして頂いていますか？

A ： セントケアさんを利用し始めたのは、いつ頃だろう。もうずっと前から利用している気がします。身体介護をお願いしていて、着替えやトイレなどの身の回りのことをしてもらっています。また通院介助の同行や、私たちが外出しなければならない際には自宅での見守りなども利用しています。
私の愚痴を聞いてもらったりすることで、私の心も癒されています。

Q ： セントケア大月へ伝えたいことはありますか？

A ： 娘が、つねったり、かみついたりしても、いやな顔もせず謝る私に「大丈夫ですよ。もっと気持ちを分かってあげられたら」とやさしい言葉が・・・。
これから利用を考えている方もいると思いますが、障がいの特性を理解するまでには時間がかかります。利用しながら子どもたちの味方を増やしていきましょう。そして障がい者の居宅介護事業所も、もっと増えてほしいな～。

《 大月市社協のヘルパーステーション「花さき」 》

身体部会の伊奈茂雄さんへインタビュー

Q ： どんな支援をして頂いていますか？

A ： 週に2回、散歩の同行をお願いしていて、1回1時間程度、近くの公園や川沿いを川の様子を聞きながら散歩しています。あと週に2回、部屋、お風呂、トイレの掃除をしてもらい、その時に食料品の買い物もお願いしています。

Q ： 今後、どんなサービスがあると助かるなぁと思いますか？

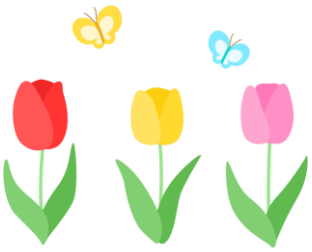
A ： 私は目が不自由ですが、身体は動けるので、自分でできることはできる範囲でやっています。「かえでケアサービス」に外出支援をして頂き、大月市立中央病院に通院していて、院内は看護師さんにお手伝いしてもらいながら、何とか受診できています。今のところは、だいたい満足して生活しています。

自分でできることはやりながら、できないことは、できない時には、無理しないで頑張らないで、支援をお願いするよう、相談していくことは大切だと思います。

きっと手伝ってくれますよ。　　（文：賛助会員のシマウマ）

＋＋ 山梨県知事表彰「自立更生者表彰」受賞 ＋＋

山梨県内の障害者で、その障害を克服し、現在自立、更生された生活を送る方を表彰。11月に「山梨県障害者芸術・文化祭」の中で授賞式が行われました。
今年度、大月市では、仕事に毎日取り組まれ、積極的に他者や社会に関わろうとする姿勢は仲間達の模範となるということで知的部会の小笠原健さんが受賞されました。おめでとうございます！



＋＋ 今後の行事予定 ＋＋

4月21日(日)	定期総会　総合福祉センター
6月上旬	社会見学

※会員の皆さんには行事のご案内をお送りいたします。

＋＋ 福祉の会役員にて出席した会議等 ＋＋

●大月市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画策定委員会(大月市)
藤本会長、小太刀理事

●大月市新庁舎整備基本計画策定委員会(大月市)
藤本理事

●大月市社会福祉協議会 地域福祉活動計画推進委員会(大月市社協)
藤本会長

●大月市社会福祉協議会 理事会・評議員会(大月市社協)
理事会:藤本会長、評議員会:花田さん

委員として会議等へ出席し、会員の皆さんのご意見を反映させていきたいと考えていますので、ご意見等ありましたらお寄せください。よろしくお願いします！

発　行：大月市障がい者福祉の会　編集委員会(理事会)
連絡先：事務局　大月市社会福祉協議会　地域福祉担当
大月市大月町花咲10番地　総合福祉福祉センター1階
電話:23－2001　ファックス:22－2861